

No. 828 5 de Mayo

DIRECCION:  
USPALLATA 981  
U. T. 28-7851, B. O.

EL "ARGENTIN DJIJO"

ANO XV

CORREO ARGENTINO  
FRANQUEO PAGADO  
TARIFA REDUCIDA  
CONCESION 718

大阪商船會社指定  
三等乗船切符仲次所  
大阪商船會社船々客御送迎に就  
ては懇切迅速に御便宜を御取計  
申可候間御遠慮なく下記へ  
御用命賜度候



船舶御用商

森川塩澤商店

PASEO COLON 470  
U. T. 33-4171  
U. T. 33-4808

OSAKA SHOSEN KAISHA

Av. Roque Saenz Peña 616 U. T. 33, AVENIDA 1051 - 1052 - 1053 - 3565  
COOPERATIVA CENTRAL 2047  
BUENOS AIRES

●北米パナマ線由日本行(年十四回) 概算まで 四月十七日 (A型) 出立のすゝめいれす  
●アンタゴスタ線由日本行(年十四回) 概算まで 四月十七日 (A型) 出立のすゝめいれす  
●アンタゴスタ線由日本行(年十四回) 概算まで 四月十七日 (A型) 出立のすゝめいれす  
●アンタゴスタ線由日本行(年十四回) 概算まで 四月十七日 (A型) 出立のすゝめいれす

●小兒運賃 旅券記載生年月に依り満十二歳未満「半額」、満七才未満「四分  
ノ一」満三才未満無賃、満四才以上亞細亞生れの方は、亞細亞旅券必要  
●乗船支拂 日本行運賃は全部米貨支拂です。一等は乗船切符買求め當日の  
換算率、三等は本船入港當日の換算率(何れも自由市場率)に依り運賃にて  
お拂ひ願ひます。一等は定額運賃(割)の出國税が掛ります。(二等は無税)  
●歸國御手續 旅券面に日本領事の査証が要ります。三等客は乗船前乗船手  
の健康診断を受け下さい。切符は本船入港當日から出帆前日迄發賣  
●日本より御呼寄の便法當地にて乗船御支拂あれば乗船券引換証書上ま  
す。但し移民局發給入國許可証及日本領事館發給呼寄証明書持参下さい  
●鐵道省乗車券發行 日本第一港から本船切符の上陸港迄鐵道省汽車乗換  
の協同船便の代りに乗車券贈呈  
●弊社内航線切符發行 弊社内航線寄港地を目的とする場合等内航線切  
符贈呈(但し沖繩・參等五割引)

買運松乗

船名	種別	日本	日本
南西船	A型	米貨 四五〇磅	米貨 九三磅
	B型	米貨 四〇九磅	米貨 八五磅
	C型	米貨 三三二磅	米貨 七七磅
	D型	米貨 二七二磅	米貨 六三磅
	E型	米貨 二一七磅	米貨 五三磅
	F型	米貨 一六二磅	米貨 四三磅
	G型	米貨 一〇七磅	米貨 三三磅
	H型	米貨 五二磅	米貨 二三磅



大阪商船

亞細亞丁時報

DIARIO JAPONES

Director: T. MIDZUNO  
Redacción: USPALLATA 981  
U. T. 23, Buen Orden 7051  
BUENOS AIRES

TARIFA DE SUBSCRIPCION  
Un mes ..... \$ 2.-  
Tres meses ..... " 6.-  
Seis meses ..... " 12.-  
Un año ..... " 24.-

YAMASHITA LINE

FAR EAST-NEW YORK-SOUTH AMERICA SERVICE

AGENT  
CHADWICK, WEIR & Cía.

25 DE MAYO 516 U. T. 31-0026-29

"K" LINE

KAWASAKI KISEN KAISHA Ltd.  
K O B E, J A P A N

Representantes  
J. E. TURNER & Co. S. A.  
RECONQUISTA 325 U. T. 31-3491-3

キリスト教青年ホーム  
ペンシラン 定期又は一時的  
聖書の研究 毎土曜日午後八  
時より即来会自由  
郵便物取次 来仕致しませう  
守屋保吉

Caseros 1983  
U. T. 23-9872

Semillería EL COLONO

ABONOS :: HORMIGUICIDAS :: INSECTICIDAS  
IMPLEMENTOS AGRICOLAS  
SEMILLAS Y PLANTAS

J. S. GAGO

IMPORTACION DE SEMILLAS  
EN GENERAL  
HERRAMIENTAS PARA JARDINES  
GENERAL HORNOS 58  
U. T. 23 BUEN ORDEN 7101  
BUENOS AIRES

PIDA CATALOGO GENERAL

川崎汽船西廻世界一周航路  
優秀船八隻就航  
日本向け貨物迅速丁寧取扱致します  
川崎汽船株式會社

経由国  
▲横濱比律賓海峽植民地印度及紅海沿岸諸  
港之文聖河經由加奈陀北米伯刺西爾亞爾第丁  
▲亞爾第丁伯刺西爾巴奈馬運河經由太平洋  
岸諸港 橫濱

TALLER  
MECANICO  
de G. GONZALEZ  
プラシナヤ機  
カルデーラの  
修繕其他  
SAN JOSE 220  
U. T. 38 - 5923

時計修繕  
電話で御一報次第参上致します  
市内カビルド街一七七八  
電話(五二)〇九三三  
守屋利夫  
CABILDO 1178  
U. T. 52 - 0933

邦人間唯一の  
染色工場  
設備完全  
仕事入念  
赤藤染色工場  
BELGRANO 3061  
U. T. 45 - LORIA 5442



新案  
TBP  
カルデーラセント  
リフト・メーカ  
のプラシナヤ機  
製造販賣修繕  
高橋秀雄  
Av. La Plata 1416  
U. T. 60 - 9421

自宅出張撮影  
複寫引伸し  
御寄寫真も御引伸し致す  
寫真師 佐藤貞則  
SALTA 158  
U. T. 37-3704

TOYOKEN  
25 DE MAYO 356  
U. T. 31 - 0739  
東洋軒  
料理部  
純日本料理  
折詰弁当  
丼物一切類  
畫食  
配達致し  
相変らず  
引立を

Masajista Japonés  
SEGUROLA 1992-6  
U. T. 67 - 4591  
日本式マッサージ鍼灸  
リウマチス・神経痛・呼吸器病  
胃腸病その他一切の疾病に効き  
日本膏薬は西坂商店より  
取次致す  
山田忠重

GRAN PREMIO EXPOSICION DE LA  
INDUSTRIA ARGENTINA 1933 - 34  
BILLARES BRUNSWICK  
BANDAS MONARCH  
ULTIMA NOVEDAD "SNOOKER"  
Solicite informes  
  
Cía. Brunswick Sudamericana S. A.  
1894 - CANGALLO - 1900  
U. T. 47, Cuyo 3577 - Buenos Aires

MATSUYA HOTEL  
TACUARI 580  
U. T. 34 - 1344  
親切丁寧  
顧客本意  
浴室完備  
まつや旅館  
料理仕立・井物一切  
日本菓子製造致す  
の会食に應じます

だ井物一品料理仕出し  
すし・おぼろ・饅頭・お出し  
御婚札御誕生の祝儀  
御注文に應じます  
松田清市  
BOLIVAR 1556  
U. T. 23 - 4092

"PLATA BRAUN" MARCA REGISTRADA  
  
カフェ・エ・バー  
レストラン用の  
メタル製品の  
御用命は日本人間  
に絶大の信用ある  
ZANUS  
月曜日の御注文に  
應じます  
BERNARDO BRAUN e HIJO  
CORRIENTES 4349  
U. T. 54, Darwin 4111

ALMACEN  
NISHISAKA  
AUSTRALIA 1101  
U. T. 21-2915  
醤油味噌 製造販賣  
洋食香物 製造販賣  
日本食料品輸入販賣  
船中万福油  
値段勉強配達迅速  
西坂實木商店

Ernesto Coco  
15 DE NOVIEMBRE 2335  
U. T. 23 - 2835  
ケロセン廉賣  
永年日本人流酒店  
並に御家庭の  
御職員を蒙つて居ります

領事館銀行・船会社と近く  
御乗船御下船の便  
御旅館 昭和館  
地方の出品の御是非御寄致す  
25 DE MAYO 330  
U. T. 31 - 5145  
BUENOS AIRES

"KEROGAS"  
Ing. F. STUCKLER  
U. T. 51-3252 PACHECO 3260  
最新型ケマド・ボイラー及び  
タンク・ス・ア・プレシオン  
製作販賣  
諸種ケマド・ボイラー・部分品  
販賣・日本人間にも多数顧客  
在りし仕事は入念迅速・電話  
で御一報次第至急参上致します

TALLER GRAFICO  
NIPPON  
SANTIAGO DEL ESTERO 975  
U. T. 23 - 7864  
刷印版活文西  
堂ニポツニ  
種各他其・刺名前計等便  
寸寸上敬命用御物不の少多  
総 川 北







見会的史歴の氏敏克王相首衛近

抗日容共政策徹底的に排撃 日支兩國締盟の固き礎石築かる

(東京三日)日支兩國提携の重大使命を帯びて来朝した中華民國臨時政府行政委員長王克敏は...

會議要旨

王院長「私は私共同志は東洋の平和を希望する見地より中華民国臨時政府を組織するに至つたが、この新政府を支持して、行くには前途多岐の困難があろうと思ふ。今日まで貴國朝野の多大の援助を受けて来たことは深く感謝すると共に今後とも相変わらず御支援あらん事をお望する」

皇軍占領地域内海関稅收暫行措置

(東京三日)英政府と交渉中の方上海関税問題は内閣解決を遂げたりと外務省ではその内容が近日発表されたと見られるが、日本軍占領地域内各港の海関が徵集した一切の稅收は、高は右は事変中は限る暫行措置である。

組界外への搬出嚴禁の敵産

(上海二日)支那側はこれ迄は我が占領地域内の敵産を外人の手にま通じて辱々巧妙に搬出して来たが、去る三十日深更に組界外に搬出禁止の令が出た。...

厚生省現地銃後施設に乘出す 國民の現地發展主義を鼓吹

(東京三日)厚生省では工藤政務次官以下山本參事官、山崎社會局長等五相次いで支那現地に於ける銃後施設は乘出すことにはあつた。...

米上院海軍擴張案可決

(華府二日)米上院は昨日ペンシオン海軍擴張法案に對するバンデンバーグ修正案を可決した。その内容は他國の軍艦を認めず主力艦五隻、五千トンの航空母艦五隻、五隻に擴充するといふのである。

北進中の我軍 滿安撤(三蘇省)を白領

(○○基地三日)江蘇省東北部の塩城を隔ち北進中の我軍は三日旧地北方約四十所の滿安撤を白領した。

海の三將軍故國に凱旋

海軍の三將軍が故國に凱旋した。



### 亜園藝協会展催 秋季花卉品評会 来る十一日より三日間開催

亜園藝協会の年次行事たる秋季花卉品評会は、亜園藝協会展催の秋季花卉品評会として、来る十一月十一日、十二日、十三日の三日間、市内バザールホール第一三二八番地の最近新築された武市花市市場内に於て開催されることになった。右品評会は初日十一日午後六時には、農務大臣を始め各方面の著名な花壇の下は花々しく開会式を挙行する予定であり、ドイツの園藝映画の映写、これは、新界のドイツ人専門家の説明等があり、同業者の栽培技術向上に資すること、以下多数入賞の栄誉を得た人、花弁栽培家は、今から切り切ること、

### 世界各国の子守唄 一堂で聴く音楽会

昨日午後五時四十五分より、亜園文化協会が、於て、同協会の主催による音楽会が、開催された。当日は、同協会の、

### 万国博覧会着選

日本万国博覧会委員丸山、

### 内山公使夫妻の招待

内山公使夫妻は、本五日午後七時よりベルグラーノの宮邸に、

### コスミン療養所 各方面人士から支援 金品の寄贈顕著

コスミン療養所は、対しては、

### 公使の訪問

内山公使は、

### カフェー店閉業

安里清保、安里清美、

### 在亜日本語小学校維持会 募者芳名(続)

同題の募集芳名、

### トル船乗組員募集

甲級船員、機関船員、

### 南米水産株式会社

市四丁目五番九号

### 在亜日本語小学校維持会 募者芳名(続)

正会員部(年額) 金二四〇〇円、

### 在亜日本語小学校維持会

各位、



新しくヒトラーを語る(一)

偉大なる建築家

たゞ微笑する独裁者

今日、ヒトラー、二と題する...

建設家

建設家は、十数年を...

彼の演説

彼の演説、集持の通り...

微笑

微笑、その時は...

安東商会 商賈は宣傳から 蔵田書店

ACADEMIA DE BAILES SARITA CANGALLO 1279

健康は成る功の基 片山製作所



# MEDICINAL NEWS

28 - Quipacha - 28

。淋病梅毒 治療代は全治後頂きます  
 。肺結核新療法 月十本の便あり  
 。婦人科。電氣治療科  
 。X光線科 (各科専門医十名)  
 診察料三ツ 午前九時〜十二時  
 午後三時〜八時  
 。日曜祭日は午前中

東洋、国分鉄藏  
 医学士  
 左記に於て歯科医療の  
 御相談に應じます  
 ドクトルエドアルド・キンターニヤ歯科医院  
 市内ヒエドラス街六九二、四階  
 デバルタメントM 電話三三三三三三

ホフマン式プランチヤ機  
 並にカルテラの修繕機付  
 一切廉價に引受けます  
 本子合社  
 指定機材部 トリビオゴニス  
 CHACABUCO 896 TELEFONO PARTICULAR 4564  
 U. T. 23, B. ORDEN 4564

御旅館 双葉  
 御下宿 双葉  
 和洋食月徳に應じます  
 皆様の御奨励を願ひます  
 尾崎幸子代  
 USPALLATA 812  
 U. T. 23 (B. Orden) 5735

歯科医療の  
 御相談に應じます  
 日本歯科 山本実雄  
 医学士  
 應診時間 午前八時〜午後十時  
 市内ヒエドラス街九七三  
 電話 三三三三三三

日本産敷 建築  
 文化住宅  
 家具製造修理其他の御用命を願ひ  
 大工指物師 山本 玄  
 Av. del TRAJAR 4817  
 U. T. 741 (Florida) 3150

ラキリアム・ブシ  
 ソンネベルド商会  
 代理人  
 ヱイセンテ  
 シアリエーロ  
 和 優良球根  
 直 各種販賣  
 入 各種販賣  
 RIVADAVIA 5871  
 U. T. 63-6662

JUGUETERIA  
**TORRO**  
 SARMIENTO 540  
 U. T. 34 - Defensa, 1687

琉球三味線教授  
 日 土曜日午後二時より  
 割 初等科  
 日 曜日中等科  
 安里亀榮  
 MONPOX 1646  
 U. T. 23, B. Orden 8424

SEMILLERIA  
**Juan Calé & Cía.**  
 CASA MATRIZ  
 123 - PUEYRREDON - 123  
 U. T. 47, CUYO 0065 y CUYO 0066  
 COOP. TEL. 1137, OESTE  
 Sucursal N.º 1: CORRIENTES 3175  
 U. T. 62, Mitre 1954-C T. 323, Oeste  
 U. T. 47 Cuyo 8998-C T. 1105, Centr  
 Sucursal N.º 2: RIVADAVIA 2425

玩具御買求めは  
 廉價、在庫品豊富の  
**トロロ玩具店**  
 日本製玩具あり  
 御申込次第型録送呈

SASTRERIA "TORRO"  
 SARMIENTO 654  
 U. T. 35, Libertad 1392  
 品質本位  
 仕立入念  
 八十五ペソ  
 より各種  
**トロロ**  
**高等**  
**洋服店**  
 この広告切抜き  
 御持参の方には  
 一割引致します



**Franz y Fritz**  
 DANCING  
 348 PARANA 350  
 一階に新設致しました美しい  
 冬の花園の御披露致します  
 プリエテは毎日午後六時半より  
 小ルンチ附コベティン一ペソ  
 楽園は有名なカナロのオルケスタ  
 夜部の 西班牙及び各國の藝術の粹を  
 集めたプリエテを二回開催  
 百名の麗人ダンサー!!  
 卅名の藝術家登場!!  
 日本人のモーツがサービス致します

新式マフオ  
 賣安大機ヤチンラフ  
  
**SALTA 431**  
 U. T. 38, Mayo 0999  
 機マフオ るな飲無全完の古中  
 すまし致賣販てに拂支件條好安格  
 (可もてに紙手の文本文日は文註御のりよ方地)

ホフマン式プランチヤ機  
 並にカルテラの修繕機付  
 一切廉價に引受けます  
 本子合社  
 指定機材部 トリビオゴニス  
 CHACABUCO 896 TELEFONO PARTICULAR 4564  
 U. T. 23, B. ORDEN 4564

御旅館 双葉  
 御下宿 双葉  
 和洋食月徳に應じます  
 皆様の御奨励を願ひます  
 尾崎幸子代  
 USPALLATA 812  
 U. T. 23 (B. Orden) 5735



### CLINICA MEDICA CANGALLO

CALLE CANGALLO 1542  
Atendida personalmente por su Director  
**Dr. A. GODEL**  
Médico Cirujano

**最新式獨乙療法**  
淋病—根治療法  
梅毒—六〇六号、九一四号  
婦人病、心臓、胃腸、各種專門  
肺腎臟神經系統  
◎日本人方には初診無料  
X光線、デアルミ、血液検査  
診察日 自午前九時 至 午後三時 至 九時  
日曜祭日は午前中

無痛歯抜 ニベソ  
セメント充填五ベソ  
金冠 拾五ベソ  
金入歯 拾五ベソ  
総入歯 六拾五ベソ  
診察時間  
午前九時より  
午後八時まで

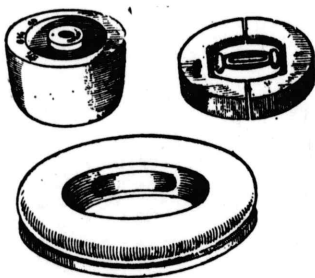
**DR. E. BULJEVICH**  
BDO. DE IRIGOYEN 1404  
U. T. 23 - (B. O.) 0279

### GRAN TALLER "EL ASAHI"

de MIYAZONO Hnos.  
Casa Matriz:  
CHARCAS 1873 - U. T. 44, JUNCAL 4386  
Sucursales:  
BME. MITRE 2511 - U. T. 47, CUYO 7159  
RIVADAVIA 5202 - U. T. 60, Caballito 4738  
BUENOS AIRES  
CONSTITUCION 148 - U. T. S. Fernando 46  
SAN FERNANDO, (F. C. C. A.)

### BUIS GORI Hnos.

LIMA 1029 U. T. 23-2897



**帽子木型製造工場**

チントレリアの仕事の  
上り下りは型の善悪  
に依ります。  
仕事を上々にさせる  
には良い型を使はね  
はなりません。  
弊工場はチントレリア  
「デラコラ」アルゴロ  
「ノ」型等流行型あり  
りゆり型を最良の市  
場で供給し、田舎から  
の御注文にも應じます。

### CAFE JAPONES

de K. UCHINO  
LAS HERAS 667 TUCUMAN



ツクマン市  
内野喜吉

### KEROFIX

DEL Sr. ALEMAN (MARTIN)  
**M. SEITZ & Cia.**

Talleres:  
CHARCAS 4511  
U. T. 71-9998

プレンチヤ機  
カルデー用のケマ  
ドリスデケロセン  
製作販売修繕取  
付交換引受け。  
当方はカーサボル  
カン以来御馴染の  
独り人で日本人間  
数多くの顧客を有し  
仕事は入念迅速電  
話で御一報次第至  
急参上致します。

### CAFE Y CERVECERIA LA "SATUMA"

有水武二  
久松純雄  
竹内武義  
加藤吉隆

General HORNOS 54

U. T. 23 - 0526 BUENOS AIRES

### Casa MALIS

DEFENSA 717  
U. T. (33) 4382

カフエー店  
就労用衣類の  
御用命は弊店へ  
サコフリンコ ミニッ  
黒チャレコ ミニッ  
黒サコ ハベッ  
上等至キミタッ



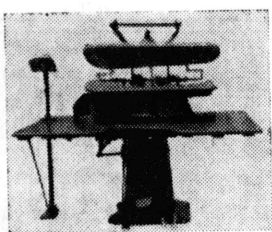
### Doctor Julio Lutzki

A L S I N A 2 4 7 4  
U. T. 47 - 5329

第二心臓肺臓喘息  
診察 午後五時 至 八時  
療養所 呼吸器  
胃腸 師

### FRANCISCO SANTERO

EX-MECANICOS Cta. HOFFMAN  
Galle DANEL 1438  
U. T. 45-0294



プレンチヤ機並ニセン  
トリアーガ製作販売

かまぼこの  
御注文は村武へ  
原料精選  
味は良くて  
値段は安い  
御入用の節は電話で  
Marcos Paz 1941 U. T. 87-4633 FLORESTA



GRAN MERCERIA Y BAZAR  
Casa fundada en el año 1923  
PRIMERA Y UNICA CASA JAPONESA  
Ultimas Novedades Para la Moda  
Creaciones en Artículos Japoneeses  
SE ATIENDEN PEDIDOS TELEFONICOS

優良品 廉価販賣  
呉服太物・小同物  
雑貨・最新流行婦  
人用品及び御家庭  
用品一切小賣店  
同胞に限り割引  
保険事務切  
公認代理人  
**林甚次郎**

CARLOS PELLEGRINI 1153  
U. T. 41, Plaza 1306



**Máquinas Hoffman**

BELGRANO 525

U. T. 34 - 1497

BUENOS AIRES

オファマン式プレンチヤ機及  
同会社製附屋品販賣店は武  
市に於ては当店一軒のみです

### TALLER MECANICO A. MENDEZ

CALLE VERA 737 - U. T. DARWIN 1108



カルボンオプタ又はガス機  
乾燥機(子連)又はモーター  
其他洗濯機、修繕、加圧



## Las dificultades del Japón del presente son contratiempos en su marcha ascendente

Después del acto solemne con que fuera conmemorado este año la fausta fecha del cumpleaños de S. M. el Emperador del Japón, a la hora del brindis por la felicidad del Augusto Soberano, S. E. el señor Ministro del Japón, Dr. Iwataro Uchiyama, dirigiéndose a todos los residentes nipones de la República, explicó con elocuentes palabras el significado del incidente actual en China, recordándoles la obligación que tienen éstos en calidad de súbditos del Japón.

Refiriéndose a la situación del Extremo Oriente y la posición que ocupa el Japón como la potencia estabilizadora de la paz y orden en esa región, dijo, entre otras cosas, que las circunstancias y las condiciones del Japón tienen, en la crisis actual, todos los caracteres de lucha por el progreso a que está destinado el Japón en su marcha ascendente, por lo que cabe el optimismo de la nación nipona, pues las dificultades con que tropieza una nación decadente, presentan aspectos muy distantes.

## Mensaje Cordial

### HABLO EL Sr. G. YOSHIO SHINYA POR RADIO PRIETO

En ocasión de la celebración del cumpleaños de S. M. el Emperador del Japón, el 29 de abril, en una audición especial organizada por el señor Ramón Fonseca y con la gentil autorización de la Dirección de L. S. 2, Radio Prieto, que consistió en variadas piezas de música y cantos típicos nipones, entre las cuales tomó parte un coro de 30 niños de la Escuela Japonesa, dirigidos por el Profesor Iwao Ito, hizo uso de la palabra el señor G. Yoshio Shinya, agente de la Koku-sai Bunka Shinkokai, quien viene actuando en todas estas ocasiones, desde hace cuatro años. He aquí el mensaje proportalado:

“Radio Prieto de Buenos Aires, nos ha brindado, con su característica hospitalidad, bien argentina, esta ocasión para mí muy grata de dirigirles la palabra, ofreciéndoles esta audición japonesa organizada en ocasión del cumpleaños del Emperador del Japón. Agradezco la gentileza de las autoridades de esta Broadcasting, en nombre de la colectividad japonesa de la Argentina y en particular de la entidad cultural —la Koku-sai Bunka Shinkokai— de Tokio, que tengo el honor de representar, siendo mi misión una de las más nobles como gratas que puede haber en la sociedad humana puesto que se trata de estrechar los vínculos culturales y espirituales de los pueblos, por medio de la difusión de conocimientos mutuos que redundan en beneficio de la amistad verdadera.

Hoy es el aniversario del natalicio de S. M. el Emperador del Japón, acontecimiento que se celebra en el Imperio como una fecha nacional, de acuerdo con la costumbre. Pero en el Japón, donde la estructura social tiene por base la familia, y la nación misma no es sino el conjunto de todas las familias del Imperio, su Soberano, el Emperador, es a la vez el jefe venerado de sus 71 millones de súbditos, quienes forman la gran familia nipona. Esta sencilla explicación les facilitará, según pienso, la comprensión del profundo amor que profesan los japoneses a su Emperador.

Los residentes nipones en la Argentina, que suman unos seis mil, quienes al celebrar la fecha

recuerdan con cariño a su patria de origen que no olvidan, como ningún hijo puede olvidar a sus padres aunque se encuentre lejos de ellos, se felicitan de encontrarse en esta tierra de placido clima, leyes magnánimas y pueblo generoso que los acoge con sincera amistad.

Estas informaciones, al parecer simples, tienen sin embargo, significados profundos: Queda expresada, en primer lugar, la gratitud de la colectividad nipona de la República hacia el pueblo de la Argentina; y en segundo lugar, la reiterada confirmación de hechos cordiales, sirve para intensificar aún más la simpatía tradicional que vincula al pueblo argentino con el del Japón, cosas que responden al anhelo de nuestro Augusto Emperador, quien aprecia y admira a la Argentina, según declaró el señor Ministro del Japón ante el señor Presidente de la Nación.

A continuación escucharéis algunas músicas típicas del Japón. Gracias”.

## Actividades militares en China durante el mes de abril

TOKIO, abril 30. — Con un contingente de cerca de medio millón de hombres, compuestos de soldados nacionalistas y comunistas chinos, trataron de reconquistar las regiones de Shangtung, siendo obligados a retirarse, después de sufrir terribles derrotas, especialmente después de la llegada de nuevos refuerzos del Japón. Los nipones seguirán en este sector hacia Suchow, llave de la línea fortificada del ferrocarril de Lunghai que defiende a Hankow. La posesión de Suchow dará a los japoneses la ocupación total de la línea del ferrocarril de Tientsin a Pukow, dejándoles libres la comunicación entre el norte y centro de China, esto es, entre Pekín y Nankín.

Las fuerzas japonesas se internaron en el corazón de Shansi, incomunicando las rutas utilizadas por las caravanas entre Rusia y el oeste de China, evitando el envío de materiales de guerra soviético que recibían los chinos por carretera, en camiones.

Muchas ciudades del oeste y noreste de Paotow, terminal del F. C. de Pekín a Suiyuan, han sido ocupadas.

Los guerrilleros chinos hostilizaron a los japoneses durante todo el mes de abril, cortándoles las vías de comunicaciones, atacando a los puestos de avanzadas, siempre con un número de soldados diez o veinte veces mayores a los de las tropas japonesas, sin que pudieran evitar, sin embargo, la marcha de los nipones.

El factor vital de la lucha continúa siendo el dominio de los ferrocarriles. Los japoneses fiscalizan todos los ferrocarriles al norte del río Amarillo y en las regiones de Shanghai y Nankín. Los chinos dominan solamente una línea importante que va desde Hongkong a Cantón y Cantón a Hankow, y un tramo del ferrocarril de Pekín a Hankow hasta Chengchow, al sur del río Amarillo. Les queda también unos 240 kilómetros de la línea Tientsin-Pikow.

Las operaciones navales del mes fueron, a grandes rasgos: Continuación del bloqueo completo de

China por el Japón, menos el puerto británico de Hongkong. Los guardacostas japoneses pudieron bloquear a Cantón, cuyo puerto de mar, de hecho, es Hongkong, mediante incursiones por el río Pearl. La marina japonesa domina el río Yanstze hasta Holsien. La única vía marítima de comunicación que les queda a los chinos es el sinuoso canal del río Holsien.

En las actividades aéreas ha seguido la dominación constante de los ataques japoneses, aunque los chinos dicen haber derribado a veinte aviones, cuando los japoneses realizaron el día 29 la incursión sobre Hankow, destruyeron 51 aviones chinos. Las fuerzas aéreas niponas atacaron el ferrocarril en toda la extensión del camino de Hongkong, Cantón y Hankow durante varios meses, así como también a los aeródromos chinos de Foochow, Changshe, Nanchang y otras docenas de lugares más. La supremacía japonesa en el aire no ha variado.

## PAGINA JAPONESA DE “LA RAZON”

Como anunciáramos oportunamente, nuestro simpático colega “La Razón” publicó el día 29 de abril, en ocasión del cumpleaños de S. M. el Emperador, una página especialmente dedicada al Japón.

La página contiene: retratos de Sus Majestades los Emperadores del Japón, y de S. E. el señor Ministro del Japón en la Argentina; vistas del corazón de la ciudad de Tokio, el campo de deportes de los jardines exteriores del templo de Meiji, donde se celebrarán los juegos olímpicos en el año 1940; una japonesa en kimono, luciendo su gracia, y un mapa mundi japonés en donde hace resaltar la posición privilegiada que el Japón ocupa en la nueva era comercial del mundo, complementados con la reproducción de la fotografía que representa a los cadetes de la Fragata Sarmiento en su última visita al Imperio del Sol Naciente.

Entre los materiales insertados, además de la nota editorial que contiene expresiones muy dignas del sentimiento cordial hacia el Japón, que es general en este país, notamos interesantes artículos que, en breve espacio, describen al Japón en todas sus fases.

Anotamos, en efecto, los siguientes artículos: Comercio exterior del Japón, que contiene en sí las condiciones industriales del Imperio; La educación en el Japón; La Marina Mercante Japonesa; La XII Olimpiada de Tokio en 1940; Los ideales del Japón, por Albino Pugnalin y Cordialidad Argentino-Japonesa, por G. Yoshio Shinya.

Presentamos agradecidos nuestro reconocimiento a la Dirección de “La Razón” y al señor José María Caffaro Rossi, quien dirigió esa publicación.

## EN EL CONSEJO NACIONAL DE MUJERES CANTARON NIÑAS DE LA ESCUELA JAPONESA

Ayer, miércoles 4, en el Salón de Actos del Consejo de Mujeres de la República, donde se celebró una fiesta internacional organizada por la señorita Mercedes Moreno, Secretaria de la prestigiosa institución, y por intermedio del agente cultural, señor G. Yoshio Shinya, tomaron parte siete niñas de la Escuela Japonesa, dirigidas por el Profesor Iwao Ito, quienes cantaron varias Canciones de Cuna Japonesas.

Fué verdaderamente una novedad en la sociedad porteña la presentación de niñas niponas ataviadas en sus kimonos auténticos y la habilidad con que entonaron sus canciones, que, justamente merecieron los aplausos de la selecta concurrencia que llenaba el salón.

Integraban el coro, las señoritas de Tomisaki, Imai, Nishizawa, Kurokawa, Yamazawa y Kajita.

Incluya un crucero alrededor del mundo en sus próximas vacaciones

•  
 Cuando vaya usted a Europa, hágalo pasando por el Oriente

•  
 PASAJES MUY VENTAJOSOS

•  
 Para informes digírese a:

**Osaka Shosen Kaisha**

Diagonal Roque Sáenz Peña 616. - 2.º piso



# PAGINA DE ACTUALIDADES

## WEI-HAI-WEI OCUPADO POR LOS NIPONES

WEI-HAI-WEI, 2. — Al recibirse la noticia de la rebelión comunista en Wei-Hai-Wei, varios buques de guerra japoneses se dirigieron inmediatamente a este lugar, tomando posesión de ésta al atardecer del día 7 del mes de marzo próximo pasado.

## 948 AVIONES CHINOS DESTRUIDOS

TOKIO, 2. — El Estado Mayor Japonés comunicó lo siguiente: "Desde la iniciación del conflicto los aviones chinos destruidos son 948, de los cuales 448 fueron derribados en los combates. La aviación japonesa ha perdido 82 aparatos en total.

## CONTINUA ACTIVA LA AVIACION NIPONA

SHANGHAI, 2. — La aviación naval japonesa, ha bombardeado el F. C. Lung-Hai a la altura de Sin-Ang, destruyendo numerosos trenes militares chinos. El F. C. Cantón-Hang-kow fué destruido en diversos puntos, así como los caminos para automóviles y el aeródromo de Foo-Chow.

## PARTE OFICIAL DE LA MARINA JAPONESA

TOKIO, 2 de Mayo. — La Oficina de Informaciones de la marina japonesa dió el siguiente comunicado acerca de las distintas actividades desplegadas recientemente.

1.—Los medios de comunicación y transporte fluvial y marítimo del Sur de China fueron cortados a pesar de la dificultad ofrecida por el empleo de la bandera japonesa por los juncos chinos.

2.—Los buques de la flota naval china echada a pique por la aviación japonesa fueron puestos a flote, y conducidos al arsenal más próximo. La limpieza de los ríos navegables ha sido terminada satisfactoriamente.

3.—La marinería de desembarco se encarga de la vigilancia de las ciudades conquistadas como Shanghai, Chifú y Wei-Hai-Wei.

4.—La aviación china perdió 40 aparatos en una batalla aérea de Nan-Chang. La mayor parte de la fuerza aérea ha huido al interior del país. En el Sur de China, más de 600 vagones cargados de materiales bélicos fueron bombardeados por los aviones japoneses. La fuerza aérea china recientemente reorganizada perdió 15 aparatos ingleses y más de 50 aparatos rusos en Hang-Kow.

## LA VENTAJA DE LA INDUSTRIA JAPONESA RESIDE EN EL SISTEMA SOCIAL DE LA FAMILIA

TOKIO, 2. — Con motivo de cumplirse un nuevo año de la fiesta de los trabajadores el señor Takinami, publica un artículo en el que destaca que Japón, como consecuencia del contacto con

Occidente, experimentó una transformación básica en la economía del país y otro tanto en la organización del trabajo.

La pequeña industria, levantada sobre el pedestal del taller familiar, fué sustituido por la fábrica, donde desaparece la persona, para dejar actuar a la máquina. En el antiguo taller familiar, vinculados entre sí, por el secreto o la particularidad del taller, creado por el maestro, el sentimiento reinaba, cooperaba y coordinaba los intereses de todos. No había legislación del trabajo, pero, en cambio, la emoción y el sentimiento lo regulaba con piedad y sabiduría.

Occidente nos trajo sus cosas y sus problemas y nosotros nos adaptamos a ellos. Tenemos nuestras fábricas y tenemos nuestra legislación de trabajo, pero, a pesar de las revoluciones y de las transformaciones, de lo viejo hemos podido conservar una cosa incólume: el reinado del corazón, que establece la verdadera solidaridad por encima de la codicia del capital y del odio de clases.

Por eso Japón, a pesar de todas las dificultades de la hora actual, no tiene conflicto entre capital y trabajo y sigue siendo el corazón el que hace de lazo en el pueblo japonés que sigue siendo una gran familia.

## REPRESENTANTE DEL GOBIERNO DE PEKIN EN TOKIO

TOKIO, 3. — Wang-Ko-min, Presidente del Comité Ejecutivo del gobierno provisional de Pekin, que estuvo en Shanghai para conferencia con el Jefe del Gobierno de reforma de Nankin, sobre la unificación de los dos gobiernos, de Pekin y Nankin, por invitación especial del Japón se encuentra actualmente en Tokio, siendo objeto de grandes agasajos por parte de las autoridades y del mundo económico financiero del Japón, con vistas para la coordinación de los esfuerzos.

## ACUERDO ANGLO-JAPONES REFERENTE A LA ADUANA DE SHANGHAI

TOKIO, 2. — Después de la entrevista con el vice-ministro de relaciones exteriores, señor Horinouchi, el embajador británico señor Cregie manifestó a los periodistas que el gobierno de su país estaba en completo acuerdo con el plan presentado por el gobierno del Japón.

Por su parte, el gobierno de Tokio anunció que quedaba concertado el acuerdo aduanero de Shanghai entre Japón y Gran Bretaña, que será dado a la publicidad mañana.

## NAN - A NIPPO

Ha aparecido con un número inicial extraordinario, dedicado a la celebración del natalicio del Emperador, el diario que lleva el título de "Nan-A Nippó", o sea el Diario Sudamericano editado en idioma japonés.

El "Nan-A Nippó", cuyo director es el señor Ryuichi Shintaku, no es un diario nuevo. Se trata de "La Plata Shimpó", que ha cambiado de nombre bajo una nueva organización.

Deseamos a nuestro colega buen éxito en su nueva orientación.

## FUE REGLAMENTADA LA TRANSMISION RADIOTELEFONICA DEL HIMNO NACIONAL

En vista del abuso generalizado, el gobierno de la Nación ha decretado la reglamentación que establece la forma y oportunidad de transmitir el Himno Nacional por radio. No se admitirá en el futuro su ejecución, sin permiso previo.

## GRAN BRETAÑA, MIENTRAS GESTIONA LA PAZ, SE DISPONE PARA LA GUERRA

Coincidiendo con nuestro pensamiento o duda, el corresponsal de "La Nación" en París, don Fernando Ortiz Echagüe, actualmente en Londres, en donde se discuten los asuntos internacionales de Europa entre Gran Bretaña y Francia, informa en su telegrama del día 30 de abril, que Gran Bretaña mientras gestiona la paz, se dispone para la guerra.

Dice el corresponsal: "Aunque el pueblo británico proclama altamente su voluntad de vivir en paz, un extranjero que llegara hoy a Londres sin información previa de los vaivenes de la política internacional, recibiría la impresión de que es inminente una guerra. Los periódicos hablan a diario de los preparativos..."

## LA HORA JAPONESA POR L. S. 2., RADIO PRIETO

Ha quedado establecida la "Hora Japonesa" para la difusión periódica de informaciones y músicas japonesas, por L. S. 2., Radio Prieto, que será dirigida por el conocido "speaker" don Ramón Fonseca, quien así reinicia sus horas japonesas, cuya suspensión ha sido echada de menos por muchísimos radioescuchas que con simpatía siguieron sus audiciones.

Las referidas transmisiones se harán los Martes y Viernes, de 18.45 a 19.15 horas.

## DESTRUCCION DE MATERIALES BELICOS CHINOS

SHANGHAI, 3. — La ofensiva de la fuerza naval japonesa destruyó más de 200 vagones militares concentrados en la cercanía de la estación Kweithe del F. C. Lung-Hai, lo que equivale a la destrucción total de materiales bélicos y parques del ejército chino de esta zona.

## EL GENERAL LI ABANDONA A CHIANG-KAI-SHEK

PENG-PU, mayo 3. — El comandante en jefe del ejército chino de Suchow del F. C. Tiensing-Pukow, General Li Tsung-Yen, ha pedido al Mariscal Chiang-Kai-Shek el envío inmediato de refuerzos haciéndole presente que de lo contrario es imposible hacer frente al ejército japonés que avanza triunfante en todos los frentes.

Sin embargo, Chiang-Kai-Shek se limitó a mandar fuerzas mal equipadas y sin preparación suficiente, actitud que disgustó al general Li-Tsung-Yen. Se cree que este general en la exaltación del enojo se dispone a abandonar la ciudad de Hsu-Chow.

### ¡Beba buen café!

EL CAFE DE SANTOS "AGUILA" está elaborado con los mejores cafés que se importan del Brasil, tostados y con un 10 oje de azúcar abrigantado. ¡Nada más!  
Muchos cafés que por ahí se exponen, ¿podrían afirmar otro tanto?

Deduzca Vd. y prefiera el

**CAFE DE SANTOS "AGUILA"**

ES UN PRODUCTO SANWT.

### H. KATO

Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería.

HERRERA 2097 y 2111 U. T. 21-1841

### LAMPARAS "YAMADA" DE CALIDAD



Luz Clara - Terminación Prolija - Selección Especial

USE LAMPARA "YAMADA"

En venta en las buenas casas del ramo



**EL SIGNIFICADO DEL - PROGRESO INDUSTRIAL DEL JAPON**

Los sorprendentes progresos realizados por el Japón en su actividades industriales, de que hacemos eco con frecuencia en estas columnas, resaltan a la vista con las siguientes informaciones comparativas que obtenemos de la publicación de la oficina de Estadísticas de la Sociedad de las Naciones.

Las condiciones cambiadas y anormales de preguerra europea, las producciones industriales del mundo, especialmente desués de la crisis del año 1929, han sufrido alternativas grandes, aún cuando, en conjunto ha comenzado a progresar lentamente, según lo atestiguan las siguientes cifras índices:

**INDICE UNIVERSAL DE LA PRODUCCION INDUSTRIAL**  
(Base 1929 = 100)

1925	81,9
1929	100,0
1932	69,0
1936	110,5

En cambio, los índices por países demuestran una disparidad que llama la atención, especialmente la posición que ocupa el Japón, comparada con el resto: Helas aquí:

	1929	1936
Japón	100	155,0
Reino Unidos	100	116,1
Alemania	100	106,3
Italia	100 (1935)	91,8
Estados Unidos	100	88,1
Bélgica	100	87,1
Países Bajos	100	71,9

**PARQUES NACIONALES DEL JAPON**

La topografía de origen volcánico, así como la dilatada extensión que ocupan las islas japonesas, a pesar de su escasa superficie, favorecido también por las condiciones climáticas, montañoso y rico en vegetales, existen en el Imperio numerosos parques naturales, hermosos como variados, que son encantos de propios y extraños. He aquí la lista de los principales parques nacionales, con la extensión de cada uno, en acres: (En orden: de norte a sur):

Daisetsuzan, Hokkaido	500.000 acres
Akan, Hokkaido	186.500 "
Towada Norte de Honshú	123.200 "
Nikko, cerca de Tokio	131.000 "
Fuji-Hakone, cerca de Tokio	212.700 "
Los Alpes del Japón, Central	427.800 "
Yoshino-Kumano, cerca de Kioto	163.560 "
Mar Interior del Japón	253.300 "
Taisen, Oeste del Japón	45.000 "
Unzen, cerca de Nagasaki	25.500 "
Aso, cerca de Kumamoto	75.460 "
Kirishima, sur de Kyushu	47.800 "

**PRODUCCION DE ARROZ EN EL PARAGUAY**

ASUNCION, abril 30. — Según los cálculos del ministerio de Economía, la producción de Yerba Mate en el año 1937 fué de 17.422.000 kilogramos; la de algodón de 40.897.000 kilogramos.

**PRODUCCION DE ARROZ EN EL URUGUAY**

MONTEVIDEO, abril 30. — El ministerio de ganadería y agricultura anuncia que la próxima cosecha probable de arroz será de 24.282 toneladas.

**Sastrería Japonesa**

Fundada en el año 1916

de S. Katayama

PIEDRAS 572

U. T. 33-5452

**5 de Mayo**

**EN EL PARAISO DE NOS NIÑOS**

Entre las muchas fiestas de carácter social o popular, que son numerosas en la tierra de las sonrisas, hay algunas muy interesantes que tienen insigne sabor nacional, bien dignas de ser conocidas. Pertenecen a esta clase la llamada Fiesta de las Muñecas y el Festival del Iris, dedicadas tan sólo a las niñas y niños, respectivamente.

Llama la atención de todos los extranjeros que visitan o residen en el Japón ver el afecto que los nipones sienten por los niños; observan el cuidado de los padres japoneses, cuya solícita atención se desvive por hacer más dichosos a sus hijos, que son el porvenir de su familia y de la nación. Los pequeños ocupan siempre el lugar más conspicuo en todas las ocasiones familiares o populares; no hay en el mundo ningún país donde el negocio de los juguetes prospere más, ni donde se vendan libros y revistas dedicados a los niños, como en el Japón, país al cual el profesor Basil H. Chamberlain ha bautizado con el nombre de "Paraíso de los niños".

En el tercer día del tercer mes del año, conocido con el nombre de "Hina Matsuri", fiesta de las muñecas, es un día especialmente dedicado a las niñas de todo el país. Es tradicional esta fiesta que viene de antaño. Nobles y plebeyos, ricos y pobres, celebran el día, si hay una niña en la familia.

La fiesta consiste en rendir homenaje a las Honorables Muñecas, a la vez que se celebra el día de las niñas. Las muñecas familiares que se guardan con celoso cuidado son sacadas en este día para desplegarlas en el sitio de honor de la sala, el Tokonoma, donde se levanta una plataforma escalonada, tapizada de seda. El Tokonoma es una alcoba característica de la arquitectura japonesa, de poca elevación sobre el nivel de la pieza, incrustada en la pared, en donde cuelga el clásico cuadro de papel llamado "Kakemono", complementado con un florero u otro objeto de arte que constituyen los únicos adornos de la sala. Las muñecas destinadas para esta exhibición son diferentes de las comunes que sirve para jugar. Son hermosas obras de arte, ricamente vestidas y colocadas de pie sobre un pedestal de madera chata. En su mayoría son modelos que representan las cortesanas de diferentes épocas, ataviadas de acuerdo con la moda y usanza de su tiempo. Hay colecciones que representan la costumbre de toda una época. Se exhiben también muebles y adornos correspondientes a las mismas y forman un alegre conjunto de bella reconstrucción del pasado, que tanto venera el pueblo nipón.

El día reservado para los niños, llamado Tango-no-Matsuri o Festival del Iris, cae el quinto día del quinto mes (5 de Mayo) de cada año. Obsérvese que todas las fiestas populares tienen efecto en los días y meses de números nones. Así como las fiestas de las niñas llega junto con las rosadas e inocentes flores de duraznos, el día de los varones tiene también su flor que los simboliza: Shobu o el Iris. La tradición nipona asocia la rígida y vigorosa hoja del Shobu con la fortaleza y la valentía del espíritu heroico del hombre.

La ceremonia es bien sencilla, como cuadra a los varones. En el menú del día debe figurar invariablemente un plato de pastel de arroz, que está dedicado para esta ocasión y que se sirve forrado con ciertas hojas verdes. Se brinda con el

"Shobu-Sake", esto es: vino nacional, el Sake, perfumado con la hoja del Iris.

La ornamentación del día es el despliegue de la armadura del guerrero antiguo, en miniatura, con todo el equipo marcial, ante el cual marchan, saltan y juegan los niños con todo el júbilo de que son capaces. En el exterior de la casa, ya sea en el patio, ya en la azotea, hacen flotar, colgadas de un palo alto de bambú, carpas de papel o de tela, que, inflados por el viento parecen como si nadaran en el agua. Se llama Koi-nobori. La carpa es el pez más tenaz que existe.

Dice la leyende que éste desafía la corriente de la catarata y prefiere ser despedazada antes de retroceder. Es un modelo de audacia y heroísmo que encanta al pueblo.

Es costumbre asimismo bañarse este día con agua de Iris, esto es, agua caliente con hojas de Shobu, que es muy refrescante.

En pocas remotas, según narra la historia, se celebraban grandes fiestas en el Palacio Imperial. La particularidad de la costumbre de antaño era la de cubrir el techo de la casa con las hojas de Shobu, y la nota principal de la fiesta eran las carreras de caballo, cuyos jinetes iban adornados con hojas de Iris.

Como se ve, hasta en las fiestas infantiles, de puro entusiasmo e inocente alegría, la tradición vela los principios vitales de la raza y de la Nación.

G. YOSHIO SHINYA.

**PROVERBIO JAPONES**

"Hijos son tesoros".

**EL JARDIN JAPONES**

El jardín japonés es una de las ramas más notables del arte japonés, porque él revela íntimamente la vida cultural de su pueblo. El estilo del jardín japonés es célebre en todo el mundo. Su particularidad característica consiste en que ésta representa un paisaje parecido a un cuadro pintado. La jardinería japonesa tiene una historia larga, mas es sorprendente cerciorarse que después de quince siglos mantenga el mismo estilo de antaño, aunque, naturalmente, tuvo etapas de evoluciones bien marcadas.

El pueblo japonés cultiva su jardín porque él forma parte de su casa y tiene, por lo tanto, relación íntima con la vida cotidiana del hombre. Una de las características principales del pueblo nipón es su profundo amor por la naturaleza. Los japoneses están acostumbrados a admirar la naturaleza.

Los jardines japoneses, con excepción de los parques y las plazas modernas están hechos para mirar, y no para el paseo. Son cuadros naturales que adornan las casas para ser vistas desde las habitaciones.

Este amor particular por la naturaleza y el gusto del pueblo que revela en el arte del jardín, es el mismo que produjo el arte de arreglar las flores, en el cultivo de árboles enanos y los paisajes en miniatura sobre bandejas, etc. que han cobrado fama entre todos los amantes del arte del mundo.

La Kokusai Bunka Shinkokai acaba de editar un libro sobre este arte, en francés, del cual es autor el renombrado especialista Dr Tsuyoshi Tamura con un prólogo del Dr. Conde Ayske Kabayama.

**KOKUSAI BUNKA SHINKOKAI**

Sociedad de Fomento de Cultura Internacional  
TOKIO - JAPON

Agente en Buenos Aires: G. Yoshio Shinya

Facilita gratuitamente toda clase de informaciones culturales relacionadas con el Japón. Atiende personalmente todos los días hábiles, menos sábados de 10 a 16 horas en la secretaría del Instituto Cultural Argentino-Japonés.

Museo Social Argentino, Viamonte 2405.



**OTRA VEZ EL ASUNTO DEL MATE**

Con la medida adoptada por el gobierno argentino para disminuir en un 40 o/o la producción nacional de yerba mate, que en los últimos años ha llegado a más de lo que necesita para el consumo nacional, y estando la República obligada a comprar una parte al Brasil, las autoridades de la nación creyeron conveniente esa medida, pero los productores de Misiones reclaman otra, presentando un conflicto que requerirá un estudio ponderado.

**ARGENTINA TIENE 12.761.000 HABITANTES**

Según publicación hecha recientemente por el por el Ministerio de Hacienda, al cual pertenece la Dirección General de Estadística, la población de la República al 31 de diciembre de 1937, era de 12.761.611 habitantes. El aumento con relación al año anterior fué de 199.349.

**NUEVA LEY DE CIUDADANIA BRASILEÑA**

Informaciones de Río de Janeiro hacen saber que la nueva ley relativa a la adquisición de carta de ciudadanía en el Brasil, contiene una innovación, que le da a la mujer derecho igual al del hombre, que, tal vez, resulte complicada en la práctica. Dice, al efecto: "Son ciudadanos del Brasil, los nacidos en el territorio brasileño, etc.; los nacidos en el extranjero, de padre o madre brasileños, etc."

Si el padre fuera francés y la madre brasileña de origen, pero que en el derecho internacional privado perdió su nacionalidad al casarse, y el

hijo del matrimonio que forzosamente debe ser francés, ¿cómo se arreglará? ¿Admite, acaso, la doble nacionalidad el Brasil?

**POESIAS ARGENTINAS**

**A MI HIJA MARIA DEL PILAR**

Por Carlos Guido Spano

Tengo en el valle de la vida un lirio:  
Mi dulce hija. Placidez, candor,  
Luz en la noche acerba del martirio,  
Perla del mar en que se hundió mi amor.

Su nombre es armonía. Todo en ella  
Gentileza, ternura, suavidad;  
Destello azul de mi eclipsada estrella  
Que reflejó otro mundo y otra edad.

Color de bronce antiguo es su cabello;  
De las espigas en sazón, la tez;  
El talle de Polimnia, erguido el cuello;  
Dátil nuevo de Smirna en su esbeltez.

Su labio carmesí destila el zumo  
De la fresca granada, y en su andar  
Gracioso y ligero como el humo  
De los perfumes suaves del altar.

Dicen sus grandes ojos: inocencia;  
Su frente: inspiración; y es tanto así  
Que de ella emana la divina esencia  
Del astro bullidor surgente en mí.

**DICCIONARIO JAPONES-ESPAÑOL**

Por el Padre Juan Calvo

La firma R. Hara y Cia., únicos agentes de la casa editora Sanseido, de Tokio, ha hecho entrega a título de donación al Instituto Cultural Argentino-Japonés el diccionario japonés-español compilado por el padre franciscano fray don Juan Calvo, el diccionario más completo que se ha publicado en esos idiomas.

**CHILE SE RETIRARIA DE LA LIGA**

Según informaciones de Londres, Chile estaría por abandonar la Liga de las Naciones. Obedece a ello el viaje del señor Ministro de Relaciones Exteriores de la Argentina a Santiago de Chile?

**85º ANIVERSARIO DE LA CONSTITUCION ARGENTINA**

El 1º de Mayo se cumplió 85 años desde la promulgación de la Constitución Nacional Argentina. El año 1853, que marcó una era para esta República coincide con la nueva era del Japón, pues en ese mismo año, visitó al Imperio el Comodoro Perry, solicitando en nombre de los Estados Unidos la apertura de los puertos para el comercio, que resultó ser la iniciación de la vida moderna del Japón.

<p><b>"NAMBEI"</b> Compañía de Importación y Exportación Sociedad Anónima Telegramas "NAMBEI" U. T. (33) 3001, 3002, 3003, 3004, 3008 y 3071 T. T. Buenos Aires, 904 SARMIENTO 470 BUENOS AIRES</p>	<p><b>T. NISHIZAWA</b> Representante de Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltda. FLORIDA 229 U. T. 38-8409-2001</p>	<p><b>F. KANEMATSU y Cia. Ltda.</b> Importaciones y Exportaciones JUJUY 188 - U. T. 45, Loria 5823 y 5824</p>	<p><b>S. TSUJI</b> Importador BALCARCE 982 - U. T. 38 Avda. 5744</p>
<p><b>H. KATO</b> Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedes y Gran Instalación de Tintorería HERRERA 2097 y 2111 - U. T. 21-1041</p>	<p><b>S. YAMADA y Cia.</b> Importadores MORENO 2999 U. T. Cuyo, 47-4354 y 4405</p>	<p><b>PIDA SIEMPRE</b> Marca <b>KANEBO</b> PARA TEJIDOS RIVADAVIA 1210 (4o. piso) U. T. 38 - 3239</p>	<p><b>LA MAISON SATUMA</b> K. YOKOHAMA Objetos de Arte y Antigüedades ESMERALDA 1080 - U. T. 31 - 2601 Sucursal: SUIPACHA 865 - U. T. 31-4637</p>
<p><b>SADAO HATTORI</b> IMPORTADOR Especialidad en artículos de Copiiería LINIERS 640 - U. T. 45, Loria 321F</p>	<p><b>IIDA y Cia. Ltda.</b> (Takashimaya) Importadores y Exportadores RODRIGUEZ PERA 102 U. T. Mayo 38-9418</p>	<p><b>M. OMURA</b> Importador de artículos generales del Japón SAN MARTIN 235 - U. T. 26-2683</p>	<p><b>S. KAISEKI</b> Representante de DAIDO BOEKI KAISHA LTD. Kobe, Japón Importación y Exportación VENEZUELA 1034 - BUENOS AIRES U. T. 38 - Mayo 7286</p>
<p><b>KATSUDA y Cia.</b> Importadores MEXICO 1474 - U. T. 38, Mayo 2313</p>	<p><b>N. HARA y Cia.</b> Importadores BELGRANO 1470 U. T. Mayo 38-2438 y 9487</p>	<p><b>S. ANDO y Cia.</b> Importadores DEFENSA 532-40 U. T. 33 (Av.) 2296;</p>	<p><b>NAOJI SAITO</b> BUENOS AIRES BOEKI ASSENJO ROQUE S. PERA 616 - 7º PISO U. T. - 1452</p>
<p><b>B. TAKINAMI</b> Importador Cava Establecida en el año 1905 VICTORIA 738 - U. T. Mayo 38-8413</p>	<p><b>CARLOS C. ISHIY</b> Importador y Exportador Bm6. MITRE 341 - U. T. 33 Avda. 9782</p>	<p><b>JIRO HONDA y Hno.</b> Importadores de Artículos Generales del Japón MORENO 1320 - U. T. 38 Mayo 2718</p>	<p><b>GUIA JAPONESA</b> LEGACION DEL JAPON: Reconquista 336. - U. T. 31-3193. CONSULADO DEL JAPON: Reconquista 336. U. T. 31-0978 CAMARA DE COMERCIO JAPONESA: Avenida Roque Sáenz Peña 618. - U. T. 33-1462. INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES: Viamonte 1435. ASOCIACION JAPONESA: Patagones 840. - U. T. 23-1593. COMPARIA DE VAPORES O. S. K.: ROQUE S. PERA 616 - 2º Piso U. T. 33-1051 - 1052 - 1053 y 3865</p>
<p><b>I. HIROTA</b> Importador de artículos generales del Japón CHILE 1029 - U. T. 37 (Riv.) 0251</p>	<p><b>S. YOKOBORI</b> Representante de FUJISAKI y Cia. CANGALLO 499 3er. Piso Esqr. N.º 21-22 - U. T. 33-9390</p>	<p>Casa <b>"YAMANAKA"</b> Oriental Fine Art Curious VIAMONTE 624 - U. T. 31 7846</p>	
<p><b>N. IKEDA</b> The National City Bank of New York BARTOLOME MITRE 502 U. T. Avenida 33 - 4081</p>	<p><b>TARO MURAI</b> Unica Casa Intaoductora de Peregrina "NORITAKE" MANPU 463 - U. T. Retiro 21-8180</p>	<p><b>K. YASUNAGA</b> Compañía Argentina, Comercial e Industrial de Pesquería DEFENSA 1597 U. T. 33-8256</p>	